SONY

HDトリニトロン搭載ハイビジョンテレビ
KW-3200HD

フルスペック・MUSEデコーダー内蔵、ソニー「新」ハイビジョンテレビ

Sony Hi-Vision TV

●画面の写真はソニーハイビジョンソフト「エミール・ガレ」からダイレクトにハイビジョン製版されたものです。
●本カタログに掲載しております商品の価格には消費税は含まれておりません。ご購入の際、消費税額をお支払いください。

ハイビジョンの繊細美をそのまま再現する、
ソニー「新」ハイビジョンテレビ、誕生。

Sony
Hi-Vision TV

HDVS

32

HDトリニトロン搭載ハイビジョンテレビ 新発売

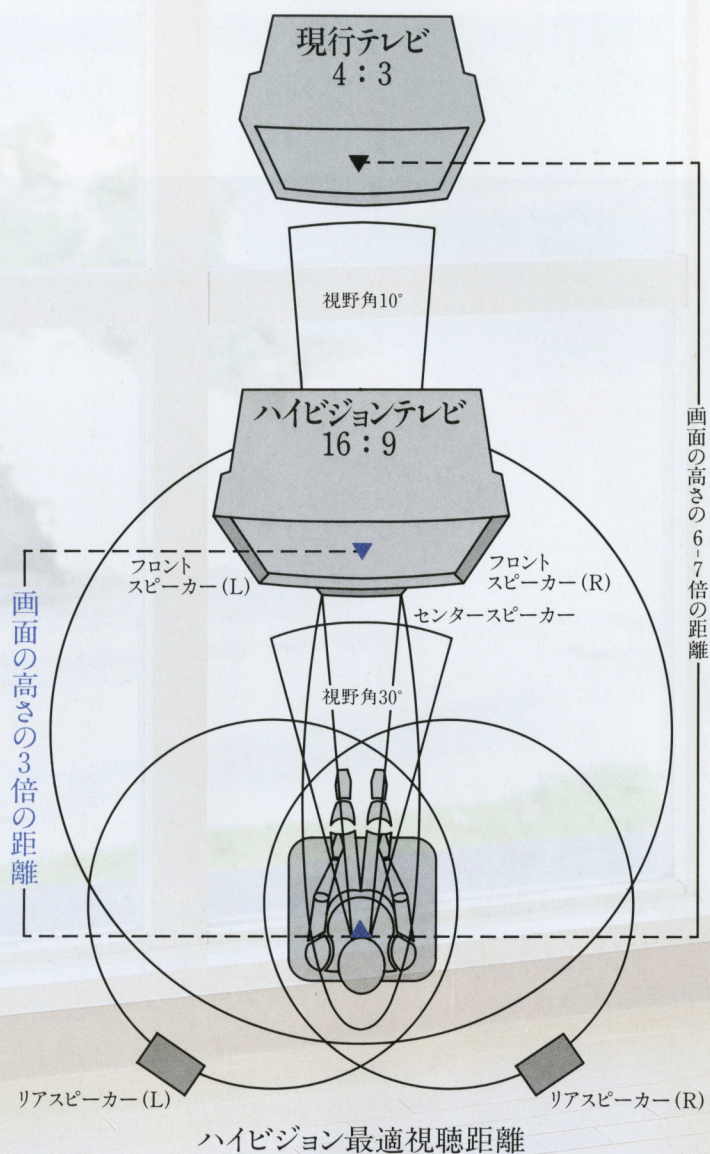
KW-3200HD 標準価格1,300,000円(税別)

専用テレビスタンドSU-3200HD 標準価格100,000円(税別)

※テレビの配送・設置調整費が別途必要です。(アンテナ及び工事費別)

※写真は別売りの専用ラック、ハイエイトビデオデッキ、マルチディスクプレーヤーとの組み合わせです。

HDVSの技術と信念が、この「新」ハイビジョンテレビを生みだしました。

ハイビジョン最適視聴距離

美しさと臨場感のために生まれたハイビジョン

ハイビジョンは、NHK技術研究所を中心とするプロジェクトチームが1968年から取り組みはじめた、高品位映像の研究から生まれました。長年にわたる研究は、美しさ、臨場感をこのうえなく感じる新しい「映像とサウンド」の存在を探ること、そしてそれをいかに実現するかという2点に絞られていました。人間工学にもとづく視覚効果の研究、様々な調査・実験…。あらゆる可能性が検討され、美しさと臨場感のために走査線1125本、画面の高さの3倍の距離から見る16対9の画面、3-1ステレオのハイビジョン方式が開発されました。

16対9の画面比率は、テレビの画面に対する心理的な調査で好ましい比率であったこと、ビスタサイズの映画スクリーン比率に近いことから決められました。また、1125本の走査線は、16対9の画面を視野角が30度となる画面の高さの3倍の距離から見たときに、1100本以上にすると視力1.0の人が走査線のチラつきが気にならなくなるとの実験結果にもとづいています。視野角30度は、人が最も快適に臨場感を感じ得る視野角を探る実験から得られました。3-1ステレオ方式は、音に包まれるような臨場感を生むために、劇場の音響効果に近い音場の再現のために採用されたのです。

画面の写真は、ソニーハイビジョンソフト『エミール・ガレ』からダイレクトにハイビジョン製版・印刷されたものです。

ハイビジョンの理想美を追究

こうして誕生したハイビジョン方式を、いかに実現するかという研究が様々に行なわれました。ソニーは、当初から積極的に研究に着手。1981年には、業務用としてのハイビジョン機器HDVS*をいち早く開発しました。その後、"撮影から編集、再生まで"の各分野でテクノロジーを磨き、ハイビジョンの映像制作に欠かせない数多くのHDVSブランド商品を生みだしました。撮影するカメラ、デジタルVTRやビデオディスクなどの編集機器、映像を映しだすモニターやプロジェクターなど、前例のないまったく新しい商品であるハイビジョン機器。この未知の分野で、基本となる半導体製造技術から磨きあげたテクノロジーは、ソニーの大きな財産となりました。

HDVSの高度技術を家庭へ

その技術力を活かし、1990年に高輝度と高精細度を両立させた、世界ではじめての36型家庭用ハイビジョンモニターを発売。翌1991年には、55型の家庭用大型HDプロジェクションモニターも発売しました。

そして今、ハイビジョン新時代

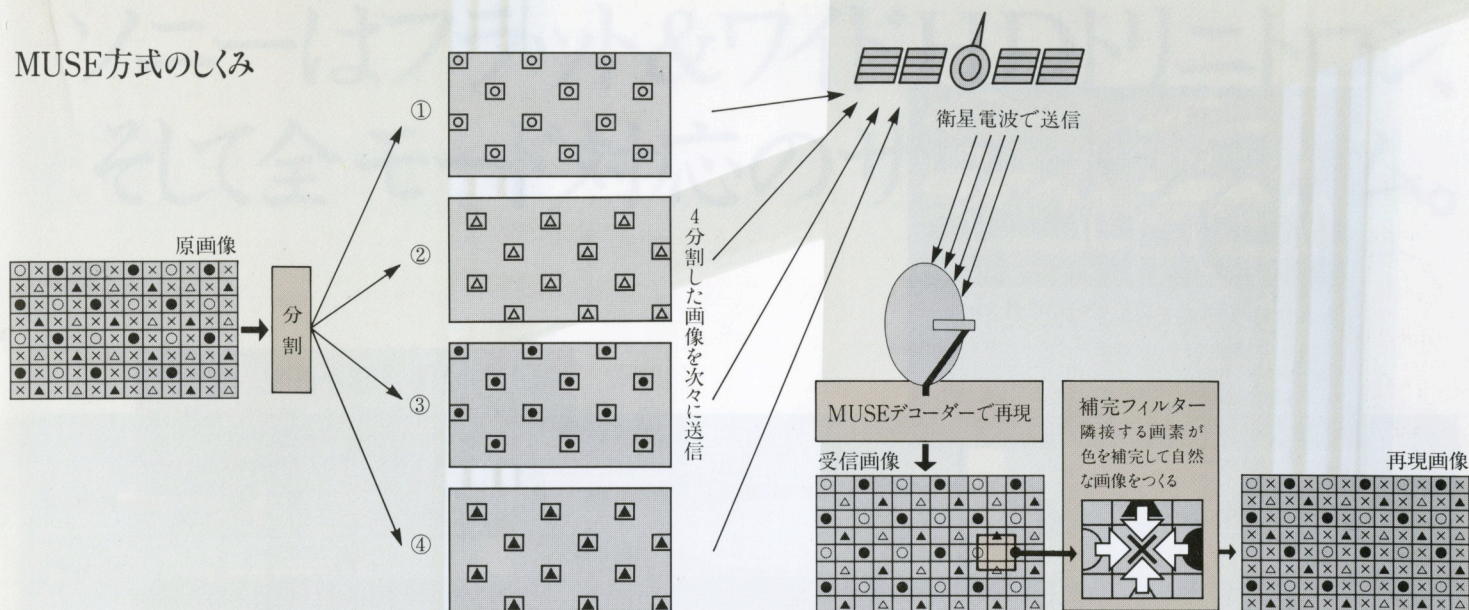
1日平均8時間の試験放送が行なわれる現在、長年にわたる映像技術者の夢であったハイビジョンが、いよいよ家庭に浸透しはじめました。ソニーは、HDVSで得た技術をもとに、本格的な家庭用ハイビジョンテレビとしての理想を追究。まったく新しいハイビジョンテレビKW-3200HDを誕生させました。その開発に際し、サイズ、デザイン、機能などあらゆる面で家庭用ハイビジョンテレビとしての新しさを求めながら、ただひとつ不変の信念を注ぎこんだ技術があります。それは、HDVSの開発で磨きあげた、ハイビジョンの美しさを忠実に再現する映像技術です。KW-3200HDは、その信念を守るために技術力で様々な課題を乗り越えて生みだされたのです。ソニーがあくまでこの技術にこだわった理由はただひとつ。ハイビジョンが美しさと臨場感の理想のために生まれた映像だからです。

業務用ハイビジョン機器HDVSのフルラインナップ　　ソニーはハイビジョン映像の制作・編集も手がけています(ソニーPCL株式会社)

*HDVS(High Definition Video System)は業務用までを含めて高品質のハイビジョン機器にのみ使用されるソニー株式会社の登録商標です。

ハイビジョンの美しさを余さず再現する。
この一線に最後までこだわりました。

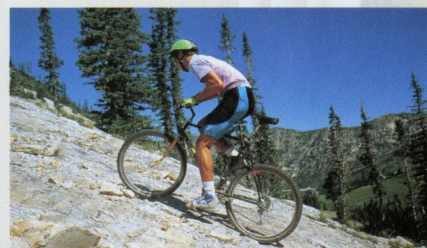
画面の写真は、ソニーハイビジョンソフト「エミール・ガレ」からダイレクトにハイビジョン製版・印刷されたものです。

MUSE方式のしくみ

ハイビジョンの美しさをそのまま再現するソニー。

ソニーのハイビジョンテレビKW-3200HDは、ハイビジョン映像の美しさを余すことなく再現する機能をそなえています。その秘密は、内蔵したMUSEデコーダーにあります。MUSEデコーダーとは、ハイビジョン映像の再現装置。ハイビジョンは現行テレビの約5倍もの情報量をもつため、そのままでは送信することができません。ですから、放送局側で1画面の映像信号を4分割し、時間をずらして衛星電波で次々と送り、それをテレビ側でたし合わせて1画面として映しだしています。この技術を帯域圧縮技術、MUSE(ミューズ)方式*といい、テレビ側の再現装置をMUSEデコーダーと呼びます。現在発売されているハイビジョン関連テレビには、このMUSEデコーダーの性能を簡略化したものもあります。ソニーは、MUSEデコーダーの性能をいっさい簡略化することなく搭載しているため、約5倍の情報を余すことなく再現しハイビジョン映像の美しさをそのまま映しだすことができるのです。

*MUSE=Multiple Sub-nyquist-sampling Encoding

満たされた性能、ソニーのフルスペック・MUSEデコーダー。

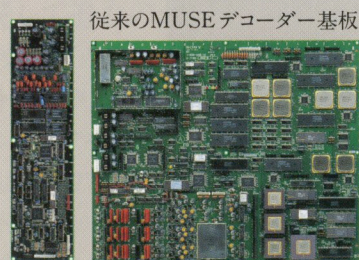
ハイビジョン映像は、映像の中でも「静止画部分」を重視しています。それは、動きのある「動画部分(静止画の情報量の約33%)」では見ることのできない繊細なディテールを、「静止画部分」ではじっくりと楽しむことができるからです。ハイビジョンの美しさの醍醐味は、「静止画部分」にあります。その考えに基づき、MUSE方式も「静止画部分」を重視する仕組みになっているのです。4分割した映像信号を次々に送るMUSE方式は、4枚分の情報が届くまで形が変わらない「静止画部分」だけを美しく再現します。それは、形が変わらないため、4分割した情報を残らずたし合わせることができるからです。形が変化する「動画部分」は、4枚分残らずたし合わせようとするとダブリのある映像ができてしまいます。ですから動画部分は、4分割した情報のうち1つだけを使って1画面をつくっているのです。画質は落ちますが、動いているものをより自然に表現するための処理です。ソニーのMUSEデコーダーは、「静止画部分」と「動画部分」を処理するMUSE方式の仕組みをそのまま搭載しています。

動きを自然に背景を美しくするフルスペック・MUSEデコーダー

動いている自転車は動画ですが、背景は静止画です。背景が美しく見えるところにハイビジョンの価値があります。

動いても静止画だから美しい

列車は動いていますが、静止画です。動くものでも形を変えずに画面の中を移動するものは静止画として扱われるのです。つまり、映像の多くは静止画といえます。

静止画はハイビジョンならではの美しさ

肉眼でこれほど近寄ったら見えなくなると思われるほどのズーム映像。ハイビジョンの美しさがもっとも引き立つシーンといえます。これも、もちろん静止画です。

従来のMUSEデコーダー基板

KW-3200HDに内蔵されたMUSEデコーダー基板

大幅なコンパクト化に成功しただけでなく、デコーダーの入り口にあるADコンバーターの能力を従来の8倍(サンプリング周波数を2倍の32MHzに、取り扱いビット数を2ビット増やし10ビット:当社比)としました。この豊富な情報量により、理想的な伝送歪み補正が可能になりました。

トリニトロンだからモワレが少なく見やすい

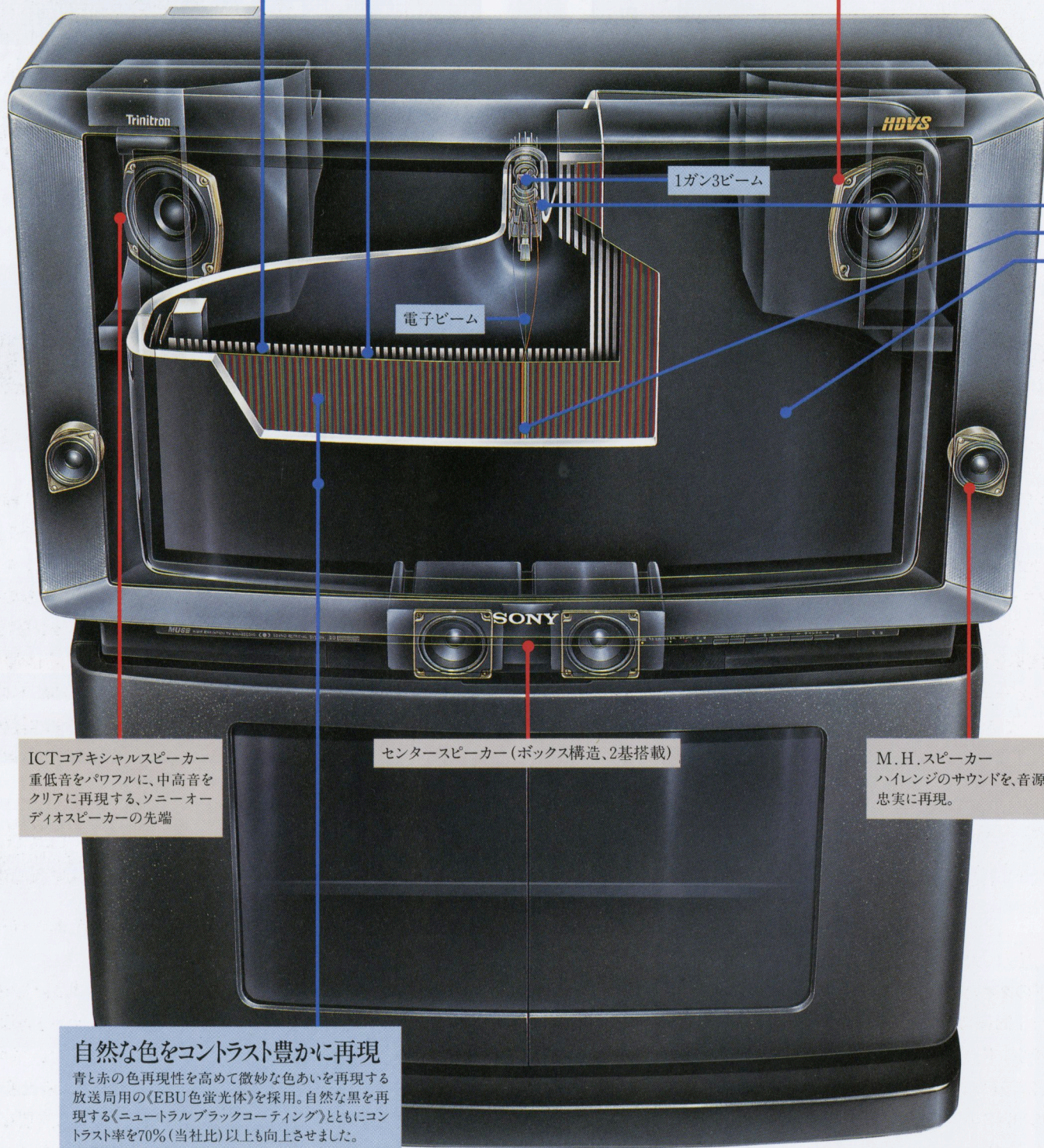
トリニトロンの縦型ストライプ状のアパチャーグリルは、明るさの確保と同時に、ビームの乱れによって生じるモワレを極力低減させ、すっきりとした見やすい画像を再現します。

迫力の映像音響を再現

左右約10ℓの大容量スピーカーボックスを搭載した《ハイビジョン対応バッソスピーカーシステム》が、これまでのテレビサウンドの常識を変えるほどの迫力を再現します。映画、ライブなどエンターテイメント番組をより臨場感豊かに楽しめます。

縦型ストライプ状のアパチャーグリル

1ガン3ビーム

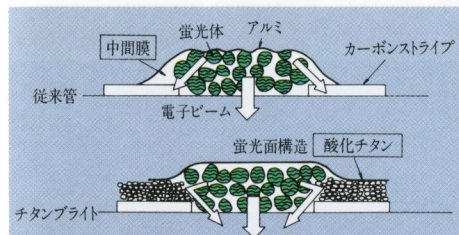
電子ビーム

ICTコアキシャルスピーカー
重低音をパワフルに、中高音をクリアに再現する、ソニーオーディオスピーカーの先端

センタースピーカー(ボックス構造、2基搭載)

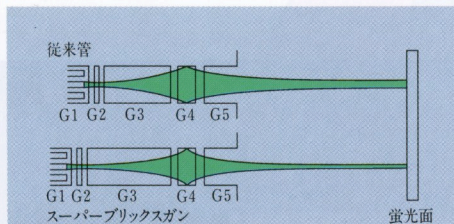
M.H.スピーカー
ハイレンジのサウンドを、音源に忠実に再現。

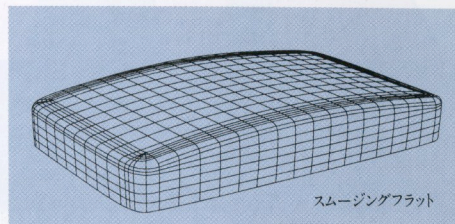
自然な色をコントラスト豊かに再現

青と赤の色再現性を高めて微妙な色あいを再現する放送局用の《EBU色蛍光体》を採用。自然な黒を再現する《ニュートラルブラックコーティング》とともにコントラスト率を70%(当社比)以上も向上させました。

ソニーはフラット&ワイドHDトリニトロン、そして全モード対応のサウンドシステム。

明るく見やすいハイビジョン映像

蛍光体が発生する光をすべて前面に引き出す《チタンブライト》、ビームの大電流化を実現させる《インジウムカソード》あわせて30%(当社比)も輝度向上させました。

従来管
G1 G2 G3 G4 G5
G1 G2 G3 G4 G5
スーパーブリックスガン
蛍光面

ワイド画面をすみずみまでシャープに

レンズをさらに大きく、焦点距離をより長くした《スーパーブリックスガン》によりシャープネスが30%(当社比)も向上。とくに繊細なハイビジョン映像で優位性を発揮します。

自然に近い臨場感のために

縦方向が限りなくフラットであるトリニトロンの垂直画面に加え、《スムージングフラット》技術により、横方向に40%(当社比)もフラット率を向上。より自然な臨場感が得られます。

ソニーの「新」高画質技術

ハイビジョンの理想美に適していた明るく、繊細なフラット&ワイドHDトリニトロン管

ブラウン管をワイドにするほど、繊細にするほど、映像を美しくする技術は困難をきわめます。ハイビジョンの理想とする美しさは、繊細なピッチの蛍光体へ強力なビームを的確に命中させなければ再現できません。ソニーが独自に開発したトリニトロン方式は、その条件を満たすブラウン管として優れた構造をもっていたのです。

まずは繊細な色。トリニトロンの1ガン3ビームの電子銃は、1本の電子銃からビームを発射するため1つの大きなレンズで余裕をもってコントロールできます。また、縦型ストライプ状のアパチャーグリルは、横方向に仕切りのある網目状のグリルに比べビームの命中率が高く、上下に引っ張ることができるため熱膨脹による色ズレも防げるという優位点をもっています。さらに、横方向の仕切りによるビームのさえぎりがないため、明るい映像が得られます。

次にフラット画面。縦方向に限りなくフラットなトリニトロンの垂直画面は、球面構造を基本とする他方式に比べ、明らかに画面の歪みや照明の映り込みが少なく見やすい構造をもっています。その上に、当社比40%アップ(対角2R)のフラット化を達成。どこよりも映り込みの少ない、品位の高い映像を再現します。このように、ハイビジョンを映しだすブラウン管にふさわしいトリニトロンを、業務用ハイビジョン機器HDVSのブラウン管技術と回路技術を導入しさらにフラットに、さらに明るく色鮮やかにしたのが新開発の《HDトリニトロン》です。優位性と蓄積技術の導入。《HDトリニトロン》は、まさにハイビジョンの理想美のために生まれました。

ソニーの「新」サウンド設計

ハイビジョンサウンドすべてに対応、そして迫力の大容量スピーカーボックス

サウンドのクオリティは、映像を楽しむ上でとても重要です。コンパクトディスクと同様のPCM方式で送られるハイビジョンの独立4チャンネルサウンド。このサウンドは、臨場感あふれる3-1ステレオ方式をはじめ、27種にもおよぶ音声の組み合わせが可能とされています。KW-3200HDのハイビジョンサウンドは、そのマルチな音声モードすべてに対応し、さらにお好みのモードを設定できます。将来、いかなるモードの番組が放送されても良質のサウンドで楽しむことができます。

もちろんサウンドシステムもソニー先端の《ハイビジョン対応バッソスピーカーシステム》を採用。ハイファイオーディオスピーカーと同様な音づくりを念頭におき、大容量スピーカーボックスを搭載しています。コンパクトなボディに収められた、左右合わせて約10ℓもの大容量ボックスが、迫力の重低音を再現します。臨場感のために重要な役割を果たすセンターにも、高品質なスピーカーを2基搭載しました。

ソニー先進の技術を活かし、現行放送を美しく、サウンドにも上質を

現行放送もさらに美しく、目にやさしい高画質

ハイビジョンだけでなく、ニュース番組など身近に接することが多い現行の衛星放送や地上放送もソニーテレビのトップクラスの美しさを実現します。高度映像技術である《フィールド倍速処理》を、家庭用テレビとして初採用。通常1/60秒ごとに1回映しだされる映像を、1/120秒という倍の速さで2回映しだすこの技術は、濃密で色鮮やかな映像を再現します。また、チラつきを感じにくくする、目にやさしい高画質技術です。

高画質モニターで培われた絵づくり思想を導入

ご家庭ではもちろん、業務用としても好評いただいている高画質カラーモニター『プロフィール・プロ』の映像回路技術を導入しています。白の色温度だけを上げることにより、輝くような白と、いきいきとした肌色など写実的な色彩を両立させる《ダイナミックカラー》。レンタルビデオなどソフト自体に含まれたノイズをカットする一方で、LDなどのノイズの少ない高画質ソフトでは画像信号を加工しないダイレクトな美しさを楽しむことができる《ノイズリデューサー(NR)》。ハイビジョン映像では原画に忠実な6500度、現行放送では9300度を基準とした《色温度》による画面全体の輝度設定などプロ指向の画質調整をお楽しみいただけます。

ダイナミックカラー(ON)

(OFF)

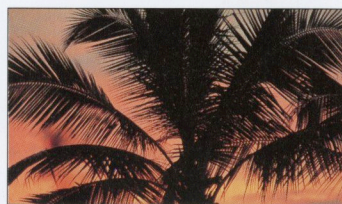
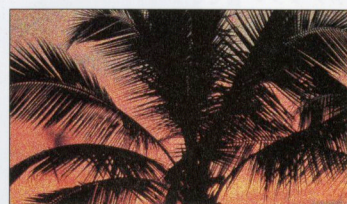
ノイズリデューサー(ON)

(OFF)

(《ダイナミックカラー》、《ノイズリデューサー(NR)》、《色温度》は、グラフィックメニューの「プロ調整」に設定されています)

Trinitron

求めました。

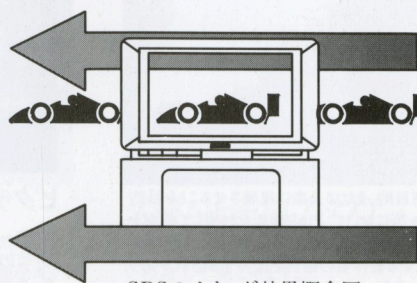
KW-3200HDの包み込まれるようなサウンドフィールド構造

オーディオのソニーが求めた テレビサウンドの先端

KW-3200HDは、"テレビは映像を見るオーディオ製品"とのコンセプトのもと、ハイファイオーディオスピーカーと同様な音づくりを念頭におき大容量のボックス構造を導入。その大容量ボックスに収められた、オーディオスピーカーの先端といわれる《ICTコアキシャルスピーカーユニット》*採用のウーファーと前面に配置された《M.H.スピーカー》*、そして30W(L:15W、R:15W)のパワーアンプにより、驚くほど迫力のある重低音と抜けのよい中高音を再現しました。また、キュービックスタイルのボックス構造を持つ、左右合わせて15Wのツインセンタースピーカーが、臨場感あふれる音場を再現します。

*ICT=Inductive Coupled Transducer M.H.=Middle High Range

ICTコアキシャルスピーカーの構造

ハイビジョンも現行放送も、ソフトにふさわしい映像音響を美しく再現

ソニーテレビの音響技術は、映像に合わせたよりよい音を求める「映像音響」がコンセプト。そのコンセプトのもと、微妙にセッティングされたスピーカーシステムの効果をさらに高める数々のサラウンドモードを搭載しています。別売りのリアスピーカー(コードレスアクティブスピーカーIFS-190を推奨しています)をつけることで高レベルの臨場感を演出する《ドルビープロロジック》をはじめとし、L・R・センター(内蔵)のスピーカーでサラウンド効果を出す《3ステレオ》、モノラルの音声に広がりを与える《シミュレートステレオ》、音の動きや広がり感をその場にいるように疑似的に再現する米国HUGHES社開発の《SRS：Sound Retrieval System》を搭載しています。

SRSのサウンド効果概念図

テレビと接する

プリプログラムリモコンRM-J120

「メニュー」、「選択」、「決定」の3つのボタンで高品位のグラフィックメニューを簡単操作。また、ピクチャーモード、サラウンドモードの選択がワンタッチでできます。もちろん、ビデオやBSデコーダーの操作も可能です。

使うほどに心地よさが深まる
美しい高品位グラフィックメニュー

リモコンのメニューボタンを押すと、ハイビジョンテレビにふさわしい高精細度のグラフィックメニュー画面があらわれます。そして、色鮮やかなそのメニュー画面にある、■印を上下に動かすだけで様々なメニューを簡単操作できます。基本的な画質・音質調整から、より高度な画質選択を行なうプロ設定、便利な録画予約設定など。特に録画予約設定は、曜日設定や画面モード設定がフレキシブルで、将来考えられる音声モードや映像ソースに対応させて幅広い設定ができるようになっています。使うほどに便利さをお感じいただけると思います。

見るほどに楽しさが高まる
多彩なピクチャーモード

KW-3200HDは、地上放送用のU/Vチューナー2台と、衛星放送用のBSチューナー1台、MUSEデコーダー1台、MUSE-NTSCコンバーター*1台と、実に5台の受信装置を搭載しています。それらの受信装置とソニー先進のデジタル技術、ワイド画面をいっぱいに使用した多彩なピクチャーモードを搭載しました。プリプログラムリモコンの「画面モード」、「PinP/PoutP」、「インデックス」スイッチのワンタッチ操作だけで8通りのモードが選べます。(子画面の音声はヘッドホンで楽しめます)

*MUSE-NTSCコンバーターは、ハイビジョン映像を、現行放送方式に変換する装置。ハイビジョン番組をお手持ちのビデオデッキで録画する際に便利です。

ピクチャー・イン・ピクチャー(16:9)

画面いっぱいのズーム・フルモード、ハイビジョン映像の中に1つの子画面を映しだします。親子画面の入れ替えもワンタッチで可能です。

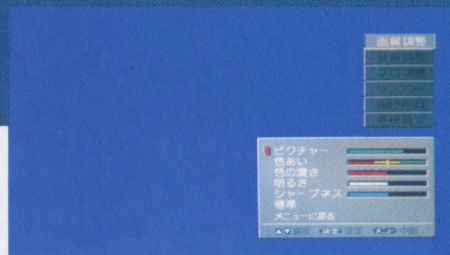
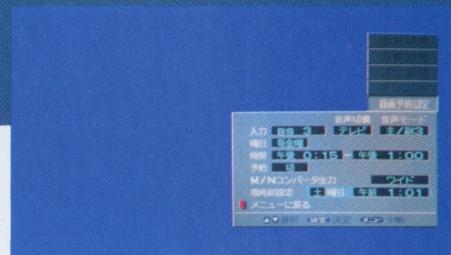
ピクチャー・アウト・ピクチャー

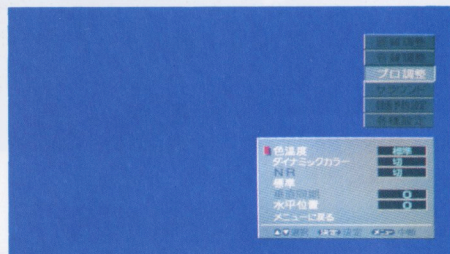
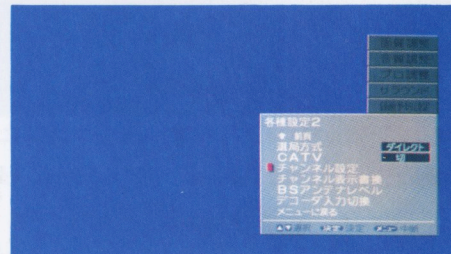
左いっぱいの4対3の画面の右外に、1つの子画面を映しだします。子画面は、現行映像、ハイビジョンその他様々な映像ソースで楽しめます。

※KW-3200HDを営利目的、または公衆に視聴させることを目的として、喫茶店、ホテル等において、PinP機能を利用して画面を2画面の状態にするなど、デジタル機能を使用されますと、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意願います。

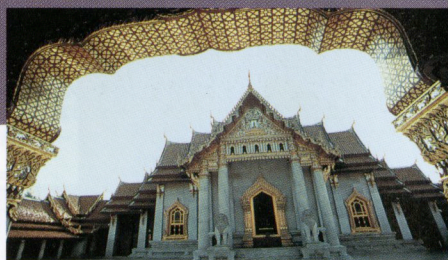
ワイドで繊細な画面を活かし、楽しさ、心地よさの先端に挑みました。

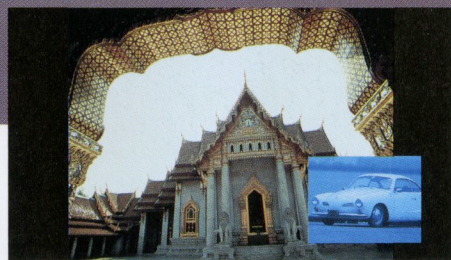
ふしぎリモコン RM-J109

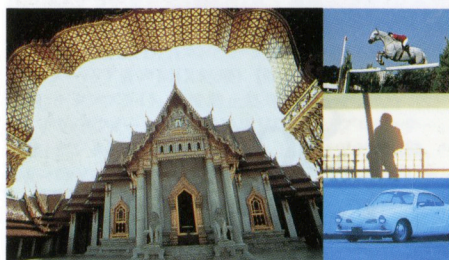
ローラーをまわして選択、そのままローラーを押して決定。グラフィックメニューの操作がテレビゲーム感覚で簡単にできるふしぎなリモコンです。

画質調整メニュー

録画予約設定メニュー

プロ調整メニュー

各種設定2

ノーマルモード

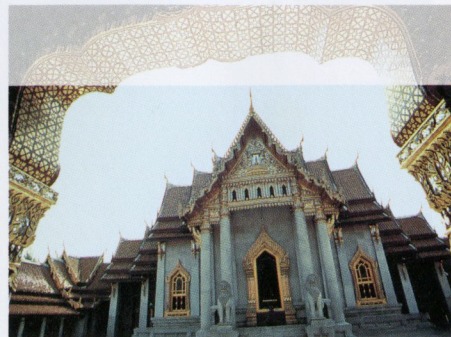
画面の中央へ、上下いっぱいに4対3の現行放送(NTSC)を映しだします。

フルモード

4対3の映像をカットせずに、ワイド画面に引き伸ばして映しだします。MUSE-NTSCコンバーターで4対3に圧縮録画したハイビジョン映像を、もとの16対9に引き伸ばして楽しむことも可能です。

ピクチャー・イン・ピクチャー(4:3)

ノーマルモードの画面の中に1つの子画面を映しだします。子画面にはハイビジョンも映すことができ、位置も上下左右の4ケ所を選択できます。

チャンネルインデックス

現行映像やハイビジョンを楽しみながら、右側の3つの子画面でチャンネルをインデックス表示します。チャンネルの選択に便利です。

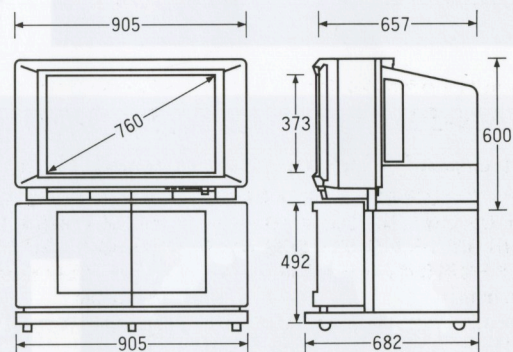
ズームモード(ダウン)

4対3の映像をワイド画面の左右いっぱいに映しだします。そのとき、ダウンからアップの状態まで28段階に画面をスクロールできます。

ズームモード(アップ)

ビスタサイズの映画ソフトなど、字幕を見ながら画面いっぱいの迫力で楽しめます。

ハイビジョンの今後を見つめ、このフォルムとシャーシが生まれました。

ハイビジョンテレビのある生活空間を実現するために
現行の34型とほぼ同等サイズ、ご家庭への設置を本格的に考えました

フルスペック・MUSEデコーダーを内蔵し、業務用ハイビジョン機器HDVSのロゴマークを記すほど高度な映像技術を導入して誕生したKW-3200HD。この新しいハイビジョンテレビが32型なのは、ご家庭への導入を真剣に考えているからです。横幅を現行テレビの34型、高さを27型に近くなるよう設計しているため、大画面テレビとほぼ同じスペースで設置できます。また、設置にかかる手間をできるだけ少なくするよう扱い易さも考慮しています。さらに、21世紀のインテリアを想定し、未来的なフォルムとボディカラー《メタリックスウェードグレー》を採用。これから先端をゆく家庭用ハイビジョンテレビにふさわしく仕上げました。そして、高品位のハイビジョン映像と現行放送をご家庭で手軽に楽しめるよう、MUSEデコーダー、MUSE/NTSCコンバーター、BSチューナー、U/Vチューナー、フロント左右とセンタースピーカーを内蔵した完全一体型シャーシ(回路などの内部構成)として設計しています。また、ハイビジョンの近未来を考慮し、様々なシステムアップが可能な背面端子群を装備しました。

※写真は、別売りの専用ラック、ハイエイトビデオデッキ、マルチディスクプレーヤーとの組み合わせです。

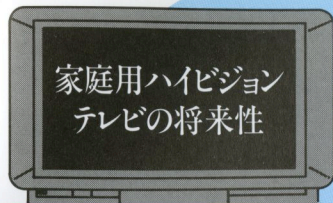
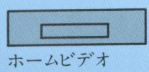
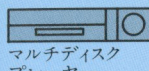
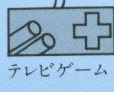
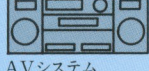
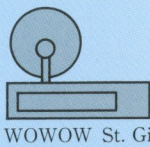
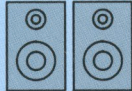
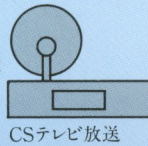
32

HDトリニトロン搭載ハイビジョンテレビ 新発売

KW-3200HD 標準価格1,300,000円(税別)

専用テレビスタンドSU-3200HD 標準価格100,000円(税別)

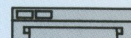
※テレビの配送・設置調整費が別途必要です。(アンテナ及び工事費別)

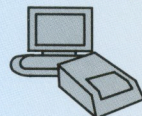
Sony Hi-Vision TV

現在

ホームビデオ

マルチディスク
プレーヤー

テレビゲーム

AVシステム

WOWOW St. Giga

外部スピーカー

CSテレビ放送

近未来

MUSE-LDP
MUSE-VCR
HD-LDP
HD-VTR
4チャンネル録音

CS-MUSE放送

将来

HDプリンター

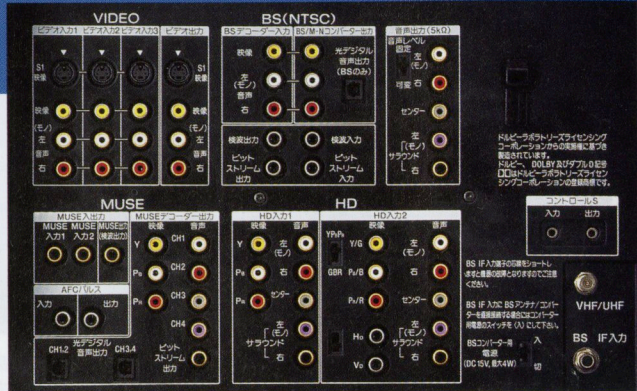
HD伝送モデム

パーソナル
コンピュータ

前面パネル

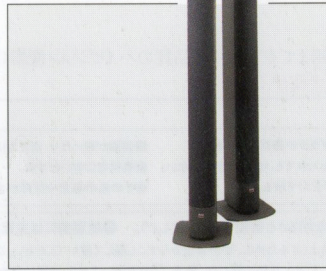
上面外部端子 ワンタッチでポップアップする外部入力端子。カムコーダーなどの接続に便利です。

背面端子

別売りアクセサリー

赤外線で音をとばすコードレス・スピーカーシステム

50cmタイプパラボラアンテナ
SAN-505
標準価格44,000円(税別)
●本体寸法:幅525×高さ605×奥行635mm(最大)●質量:3.3kg(コンバーター含む)●開口率:76%(標準)●BSコンバーター付属●適合ポール径:直径38.0～42.7mm

75cmタイプパラボラアンテナ
SAN-703
標準価格72,000円(税別)
●本体寸法:幅780×高さ950×奥行870mm(最大)●質量:10.1kg(コンバーター含む)●開口率:71%(標準)●BSコンバーター付属●適合ポール径:直径48.6～60.5mm

コードレス・スピーカー
IFS-190
標準価格70,000円〈2台1組〉(税別)
●外形寸法:幅220×高さ1000×奥行240mm(最大)●質量:約8kg(1台)●出力:10W×2 ●ドルビーC搭載
●テレビの画像を乱さない防磁設計

赤外線トランスミッター
TMR-IF10K
標準価格12,000円(税別)
●外形寸法:〈モジュレーター部〉幅90×高さ73×奥行140mm〈発光ユニット部〉幅90×高さ230×奥行140mm●質量:〈モジュレーター部〉約740g〈発光ユニット部〉約160g

KW-3200HDの主な仕様

【MUSEデコーダー部】●4社(富士通株式会社/日本テキサス・インスツルメンツ株式会社/株式会社日立製作所/ソニー株式会社)共同開発MUSE-LSI使用 ●入力処理部:A/Dコンバーター(10bits/32MHz)搭載、波形等化、アナログ入力切換、ディスパーサル除去 ●映像処理部:静止画処理部、動画処理部、動き検出部、フレーム間内挿部 ●出力処理部:逆マトリクス、ガンマ補正、D/Aコンバーター ●音声処理部:音声復調、音声切換 【MUSE/NTSCコンバーター部】●映像出力:ワイド、ズーム、フル、フル(オート)選択可 ●音声出力:L、R出力(センター/リア音声MIX処理) 【映像部】●ブラウン管:32型HDトリニトロン管(110°偏向)、スーパーブリックスガン、EBU色蛍光体、ニュートラルブラックコーティング、スムージングフラット処理、チタンブライト、帯電防止処理 ●オーバルDY(楕円型巻線偏向ヨーク)、電磁四重極 ●ハイビジョン対応回路:ハイビジョン用ディレイラインアパコン、ハイビジョン用速度変調回路、ダイナミックフォーカス、放送局用HDビデオプロセッサー、オートペデスタル、ニューダイナミックカラー、ダイナミックピクチャー ●NTSC処理回路:フィールド倍速処理回路、PLL同期検波回路、デジタルノイズリデューサー、広帯域ビデオ回路、クロマ広帯域処理 ●受信チャンネル:VHF/UHF/CATV/SHF 【音声部】●MUSE音声(全モード対応)仕様 ●ハイビジョン対応バッソスピーカーシステム:フロント(L・R15W×2)、センター(7.5W×2)・ドルビープロロジック回路、SRS回路、DSP処理 【機能】●各種機能:BSチューナー×1、U/Vチューナー×2、PinP/PoutP/チャンネルインデックス機能、ズーム(アップ・ダウン)/フルモード機能、簡単録画機能、消画機能、親画面スチル、高品位グラフィックメニュー、スピーカーモードセレクト、エラーメッセージ機能 ●メニュー操作系:画質調整、音質調整、色温度設定、ダイナミックカラー、ノイズリダクション、サラウンド調整機能、録画予約、MUSE/NTSC出力画面モード設定、有料デコーダー設定 ●プリプログラムリモコン、ふしぎリモコン(ローラーリモコン) 【接続端子】●NTSC部:ビデオ入力3系統4端子(S1映像3系統4端子)、上面ポップアップターミナル、ビデオ出力(S/Vクロス出力) ●BS部:BSデコーダー入力、BS出力(M/Nコンバーター出力兼用)、光音声出力、検波入出力端子、ビットストリーム出力端子 ●音声部:アナログ5ch出力端子(MUSE選択後出力)(可変/固定) ●MUSEデコーダー部:MUSE入力2系統2端子、MUSE出力(検波出力)、AFC入出力端子、光デジタル音声出力(選択前4ch)、MUSEデコーダー出力(映像;色差、音声;アナログ選択前4ch+ビットストリーム出力) ●HD入力部:HD入力2系統(HD1;色差入力、HD2;色差/GBR入力、音声アナログ5ch) ●その他:ヘッドホン出力(親画面用×1子画面用×1)、コントロールS入出力端子 【有効画面】●幅662×高さ373×対角760mm 【最大外形寸法】●幅905×高さ600×奥行657mm 【質量】●約87kg 【消費電力】●320W(スタンバイ時6W) 専用テレビスタンド SU-3200HD 【最大外形寸法】●幅905×高さ492×奥行682mm 【有効内寸】●幅574×高さ330×奥行599mm 【質量】●約46kg(キャスター付)

本カタログ中の画面ハメコミなどに使用している美術作品の写真は、ソニーハイビジョンソフト『Emile Gallé（エミール・ガレ）』からダイレクトにハイビジョン製版・印刷したものです。エミール・ガレは1846年フランスに生まれた芸術家。19世紀末に興ったアール・ヌーヴォーの潮流の中で、ナンシー派の中心的存在として偉大な足跡を残しました。アール・ヌーヴォーの特徴である抽象的植物様式や異国趣味の引用にとどまらず、ガレ独自の自然観と美意識を表出させた作品は芸術的に高い評価を得ています。

※HDVS（High Definition Video System）は業務用までを含めて高品質のハイビジョン機器にのみ使用されるソニー株式会社の登録商標です。
●テレビの配送・設置調整費が別途必要です。（アンテナ及び工事費別）

●長年ご使用のテレビの点検をおすすめします。

こんな症状はありませんか

- ●電源コードやプラグが異常に熱くなる。
- ●電源スイッチを入れても、映像や音が出ない。
- ●画面の一部が欠けて映る。
- ●画面が映ったり、消えたりする。
- ●異常なにおいがする。
- ●その他の異常や故障がある。

故障や事故防止の為、必ずお買い上げ店またはソニーサービスステーションに点検（有料）をご相談ください。

ちょっとした心づかいでテレビの安全

省エネの上手な使い方　❶こまめにスイッチを切りましょう。　❷適切な明るさと音量で楽しみましょう。　❸就寝前には主電源を切りましょう。

取り扱いについてのお願い①取扱説明書をよく読んでお使いください。②通風をよくするために、セットは壁からすこし離して置いてください。③水がかかったり、熱源が近くにあると故障の原因になります。ご注意を。④裏蓋をはずしたりセットの内部に手を入れたりしないでください。⑤セットをふく時や長時間使わない時は、電源プラグを抜いてください。⑥万一故障の際には、電源プラグを抜いてから、お買い求め店にご連絡ください。●あなたが録画・録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。●カタログと実際の製品の色とは、印刷の関係で多少異なる場合があります。●お買い上げの際には製造番号をご確認ください。●テレビ、モニター、ディスプレイには配送・設置調整費が必要です。（アンテナ及び工事費別）●仕様および外観は、改良のため予告なく変更されることがありますので、ご了承ください。●ドルビー、DOLBY及びダブル記号 DD は、ドルビーラボラトリーズライセンシングコーポレーションの登録商標です。●CATVを受信するにはCATV会社との手続きが必要です。詳しくは、CATV関係各社にお問い合わせください。●衛星放送は、雷雨や豪雨のような強い雨が降ったり雪がアンテナに付着すると電波が弱くなり、一時的に画面や音声に雑音が出たり、ひどい場合にはまったく受信できなくなることがあります。これは気象条件によるもので、アンテナやチューナーの故障ではありません。●CSテレビ放送の電波にはスクランブルがかかっており、解除されるまでに数秒時間がかかる場合があります。ビデオなどのタイマー録画開始時間にご注意ください。●テレビの型（32型等）は画面寸法を表すものではなく、ブラウン管の外形対角寸法を基準とした目安です。●テレビと専用台の総重量が約133kgになりますので床強度にご注意ください。●SRSシステムは米国GM Hughes Electronics社の関連会社であるHughes Aircraft社が開発した"(●)Sound Retrieval System"技術の使用許諾を受けて製造されております。●HDVSはソニーの登録商標です。●KW-3200HDを営利目的、または公衆に視聴させることを目的として、喫茶店、ホテル等において、PinP機能を利用して画面を2画面の状態にするなど、デジタル機能を使用されますと、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意願います。

●この商品には保証書がついています。お買いあげ店名とお買いあげ年月日が記入されているかお確かめのうえ、大切に保存してください。

●カラーテレビの補修用性能部品の最低保有期間は製造打切後8年です。

ソニー株式会社　〒141 東京都品川区北品川6-7-35
ショールーム　東　京／銀座数寄屋橋ソニービル
大　阪／中央区心斎橋筋ソニータワー
お客様ご相談センター　東　京／(03)3448-3311
名古屋／(052)232-2611
大　阪／(06)251-5111

このカタログの内容について、詳しくお知りになりたい方は、お近くのソニー商品販売店におたずねになるか、当社のお客様ご相談センターにお問合わせください。

ソニー商品販売店

五番舘 オーディオ.ビジュアル.家電
SEIBU B館3階
TEL215-3535〜6(ダイヤルイン)

'92.7

カタログの記載内容：1992年7月現在

1992年7月印刷　CVMG-1　Printed in Japan.　(84992105)　R